

観光統計

平成26年5月21日
観光庁

平成24年(2012年)の旅行消費額(確定値)

～旅行消費額は22.5兆円。これまで減少傾向にあったが、6年ぶりに増加！～

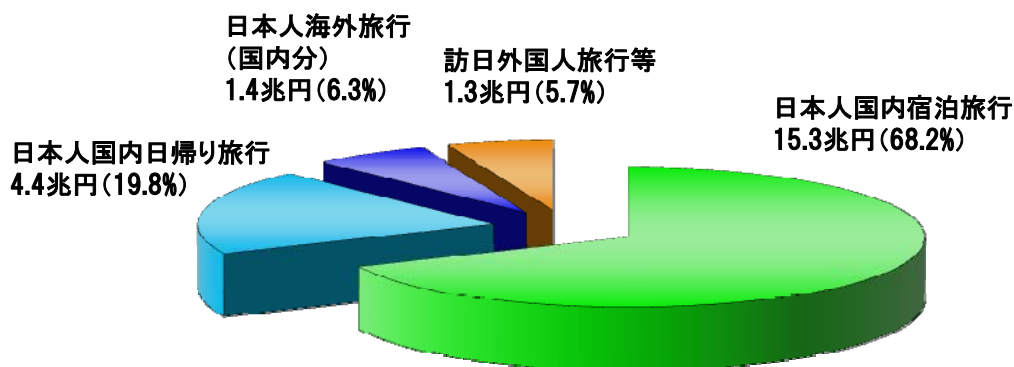
- 旅行消費額は22.5兆円。これまで減少傾向にあったが、6年ぶりに増加に転じた(微増)。(図表1、2)
- 旅行消費額を市場別に見ると、訪日外国人旅行等による消費額が前年比29.6%と大きく増加。(図表3)
- 旅行消費額22.5兆円がもたらす生産波及効果は46.7兆円であり、これにより、399万人の雇用誘発効果があると推計。(図表4)

I 平成24年の旅行消費額の概況

- ・旅行消費額は22.5兆円で、そのうち日本人国内宿泊旅行が15.3兆円(観光目的9.5兆円、帰省目的3.6兆円、ビジネス目的2.3兆円)、日本人国内日帰り旅行が4.4兆円、日本人海外旅行(国内分)が1.4兆円、訪日外国人旅行等が1.3兆円。

図表1 国内の旅行消費額22.5兆円の市場別内訳

22.5兆円

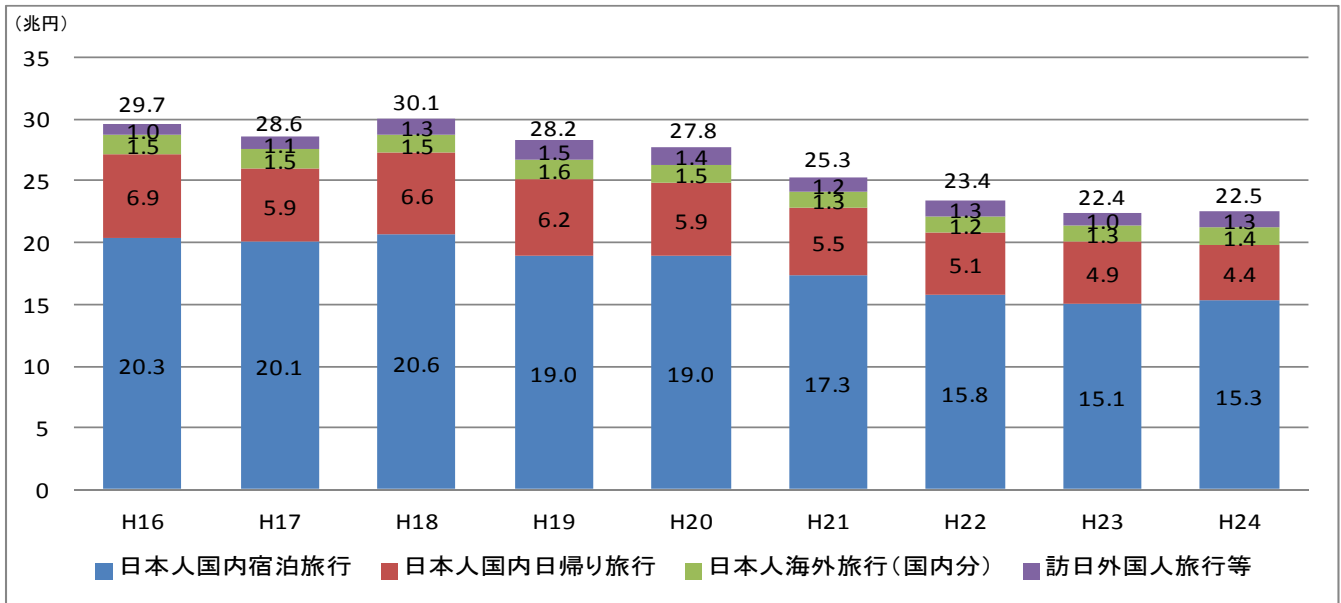


出典:観光庁「旅行・観光消費動向調査」、財務省・日本銀行「国際収支状況(確報)」より

問い合わせ先
観光庁観光戦略課 森(内線27-211)
観光戦略課調査室 山本、岸本、紺野(内線27-219、27-215、27-218)
TEL 03-5253-8111
03-5253-8325(直通)
FAX 03-5253-1563

・旅行消費額は平成23年まで減少傾向にあったが、平成24年は6年ぶりに増加に転じた(微増)。

図表2 旅行消費額の推移



・旅行消費額を市場別に見ると、訪日外国人旅行等による消費額が前年比29.6%と大きく増加した。

図表3 市場別旅行消費額の前年との比較

単位: 兆円

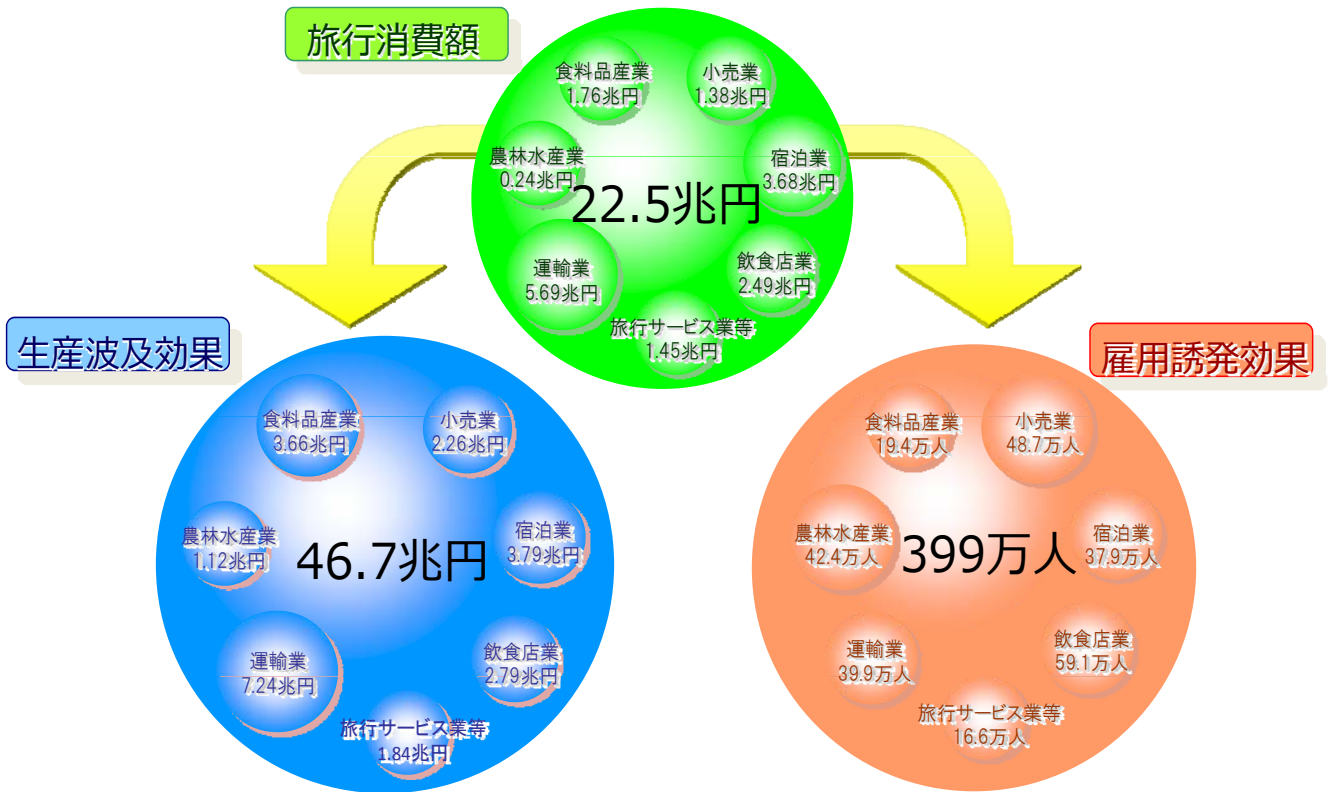
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
日本人国内宿泊旅行	20.3	20.1 (-1.2%)	20.6 (2.6%)	19.0 (-7.9%)	19.0 (-0.1%)	17.3 (-8.6%)	15.8 (-9.2%)	15.1 (-4.1%)	15.3 (1.4%)
日本人国内日帰り旅行	6.9	5.9 (-13.9%)	6.6 (12.3%)	6.2 (-7.2%)	5.9 (-4.5%)	5.5 (-5.7%)	5.1 (-8.6%)	4.9 (-2.3%)	4.4 (-10.1%)
日本人海外旅行(国内分)	1.5	1.5 (2.6%)	1.5 (-1.4%)	1.6 (9.0%)	1.5 (-9.0%)	1.3 (-15.3%)	1.2 (-1.5%)	1.3 (7.5%)	1.4 (7.1%)
訪日外国人旅行等	1.0	1.1 (9.3%)	1.3 (24.4%)	1.5 (9.4%)	1.4 (-2.4%)	1.2 (-18.4%)	1.3 (15.0%)	1.0 (-25.9%)	1.3 (29.6%)

※カッコ内の数値は前年比を示す。

II 旅行消費の経済波及効果の概況

- ・旅行消費額22.5兆円がもたらす生産波及効果は46.7兆円。
- ・これにより、399万人の雇用誘発効果があると推計。

図表4 経済波及効果の概況



◆生産波及効果

新たな需要が生じた際に、結果として産業全体にどれだけの効果が生じたのかを示したもの。(例えば、旅行・観光消費によってこれらに原材料(中間財)を納めた業者の売上や当該業者に勤務する従業員の給与が増加することによってもたらされる産業全体の新たな生産を含めたもの)

出典: 観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」より